

次宇治墓贈正一位太政大臣越前公藤原朝臣在山城國宇治郡一烟

小野墓贈太政大臣正一位藤原朝臣高藤在山城國宇治郡小野郷

後小野墓贈正一位宮道氏在山城國宇治郡小野郷

又宇治墓贈太政大臣正一位藤原朝臣時平在山城國宇治郡一烟

〔政事要略二十九〕荷前事

多武峯墓贈太政大臣正一位淡海公藤原朝臣在大和國十市郡兆城東西十二町南北十二町無守戶

淡海公者内大臣鎌足之長子也依爲藤氏之先雖多他墓別所注也自餘墓可見式

〔公卿補任元正〕右大臣正二位藤原不比等 養老四年八月三日薨 十月八日戊子火葬佐保山椎

崗從遺教也

〔古事記傳二十〕四墓ハ贈太政大臣正一位藤原朝臣多武峯墓藤原朝臣冬嗣墓尙侍藤原朝臣美

都子墓源朝臣潔姬墓これなり冬嗣公は文德天皇の御外祖母美都子は同御外祖母潔姬は當代

和清の御外祖母なればなり然るに多武峯墓は不比等公にて聖武孝謙の御外祖にこそあれ

清和の御代に殊に祭らるべき由はなきに此内に置れたるは此時天皇は未幼坐々ば凡て良

房大臣の御心より出たる故なるべしさて三代實錄今本に右の多武峯墓鎌足とあるは後人

のなまさかしらに改めつるものなり古本には此名なし多武峯は不比等と諸陵式にも見え

贈太政大臣正一位も鎌足にてはかなはぬ物をや

〔大日本史禮樂四〕按實錄云贈太政大臣正一位藤原朝臣鎌足多武峯墓符宣鈔書法亦同而延喜

式書多武峯墓贈太政大臣正一位淡海公藤原朝臣政事要略以爲不比等其說不合可疑且鎌足

贈位贈官正史無所見實錄書法亦非無疑據大織冠傳鎌足葬山階公卿補任帝王編年記不比等

葬椎岡然皆其火葬地也意者後人或移葬二人遺骨於多武峯定爲墳墓而二墓竝在同地故致此